

### 1. 20世紀国際秩序から21世紀地球秩序へ

[20世紀国際秩序] 3国(独・伊・オーストリア=ハンガリー)同盟・3国(英・仏・露)協商体制～第一次大戦～ベルサイユ・ワシントン体制(英・仏・米・伊・日)～第二次大戦～ヤルタ・ポツダム体制(米・ソ・英・仏・中)～第三次大戦(朝鮮戦争・ベトナム戦争・アフガニスタン戦争)～米国の経済力と影響力の低下・ソビエト解体・EU結成と域内格差・ASEAN拡大・中国興隆～[21世紀地球秩序] 多様化の中で人間・地域・地球・宇宙が一体化。理念が現実化。

### 2. 現在と将来の世界

国内総生産(GDP)購買力平価(単位 US 兆ドル)米国プリンストン大学調査資料

	中国	米国	OECD(経済協力開発機構：欧州諸国・日本など)
2005年	9	12	34
2010年	14	17	44
2015年	21	22	55
2020年	30	28	73
2025年	44	37	88
2030年	63	49	105

中国の経済発展はいちじるしい。その他の国も発展。人口ではインド。すべての人と地域が光り輝く世紀。六者協議(中・米・朝・韓・日・露)、北東アジアを非核武装安全保障地帯へ。ASEANがアジア・太平洋・世界で重要な役割を果たしている。東南アジア友好協力条約(TAC)、27か国参加。ラテンアメリカ諸国の新しい結集。地域中心の緩やかな地球共同体。

### 3. 19世紀後半から21世紀初めまでの日本

[19世紀後半～20世紀前半] 徳川幕藩体制～明治維新～大日本帝国(天皇主権)～[20世紀後半～21世紀初め]敗戦後の占領期～新憲法(国民主権)とサンフランシスコ講和条約のもとでの1955年体制(自由民主党=保守統一戦線内での政権交代システム)～1993年に自民党のみで政権が維持できなくなる。自社、自公など連立の時代に。2009年に自民党、政権を失う。民主・社民・国民新党連立政権発足。自民中心から民主中心の連立政権の時代へ。ともに保守連立政権。政権内外の変革派と保守派との抗争が激化。諸党乱立。政界再編。新憲法・サンフランシスコ講和・日米安保体制をどのようにするのが当面の課題に。

### 4. 米国と日本の現在

オバマ大統領、強かな人。経済・財政・金融・健康保険などの内政中心の足場固め。外交では核のない世界を掲げるが、大きく動かない。イラク戦争・アフガン戦争・米露核軍縮条約(1550発、2009年9月末の所有数は5113発)・沖縄・朝鮮・イラン。鳩山由起夫首相、お坊ちゃん。小沢・鳩山は参議院選挙までもつか。民主党だけで過半数は無理。首相は民主党内でたらい回し。連立は保・中道左派の現状維持か、民主・自民の保守大連合か、民主・みんな・国民新党の新保守連合か。公明はどう出るか。憲法9条擁護連合と憲法9条改定連合。